

家庭のごみを トコトン考えよう!

市民が知りたい「行政の情報」を基本的な事柄や背景を含め、できるだけ解りやすい講座にして開催しました。

平成 25 年度は市民協働課の協力を得て、「家庭のごみ問題」を取り上げました。

ごみとなかよくつき合い、快適な暮らし

	日時	内容	講師
第 1 回	2 月 22 日 (土)	ごみ問題を考える -ごみ問題の歴史と 3 R の今-	NPO 法人ゼロウェイストアカデミー理事 松岡 夏子さん
第 2 回	2 月 27 日 (木)	生ごみよ、消えろ! ~なぜ、ごみが消えるのか?~	家庭用生ごみ処理容器開発者 松本 信夫さん

いずれも開講時間は 13:00~14:30、場所は市民交流センター第 2・第 3 会議室

ごみ問題を考える

~ ごみ問題の歴史と 3R の今 ~

講師：松岡 夏子さん (NPO 法人ゼロウェイストアカデミー理事)



ごみ問題の始まりは都市化。経済成長に伴うごみ増加、埋立から焼却へ。
「廃棄物処理」から「資源管理」へ。混ぜればごみ、分ければ資源。
徳島県上勝町 ゼロ・ウェイスト宣言 「2020 年までにごみゼロに！」

3 R (リサイクル・リユース・リデュース) の今。
資源管理はライフスタイルのあり方に直結するので、市民が関心を高めることがとても大事。

受講者の感想：

- ① ごみ問題の歴史・背景などを聞き、逗子市の現状や資源循環課の取組みに理解を深めることができた。
- ② リサイクルの前にリデュース、リユースがあるということで、この分野は行政ではなく市民が担う取り組みだと思った。
- ③ 講師は若いですが、上勝町での実績などごみ問題のエキスパートで、説得力のある話だった。

生ごみよ、消えろ！

～ なぜ、ごみが消えるのか？ ～

講師：松本 信夫さん （家庭用生ごみ処理容器「キエー口」開発者）



家庭ごみで唯一無くせるのが生ごみ。

家庭から焼却に出す可燃ごみに占める生ごみの割合は約 30%～43% ぐらい。資源化が進んでいる地域ほど生ごみの割合が高い。

生ごみを土に還せないか？

微生物による生ごみの分解の仕組み。

どうすれば効率良く分解してくれるか？コツは微生物はペット、住みよい環境を整え、愛情を持ってエサ（生ごみ）を与える。

受講者の感想：

- ① 生ごみが分解される原理を面白く聞くことが出来た。
- ② 家庭ごみの資源化が進めば、生ごみの割合が高くなるので、いよいよ家庭・市民の出番だと思った。
- ② キエー口の冬場対策、虫対策、水分管理など説明が具体的でキエー口使用者のフォローになった。



松本 信夫さんが開発した 家庭用生ごみ処理容器
「キエー口」



平成 26 年度も市民が知りたい「行政の情報」をできるだけ解りやすい講座にして開催します。
ご意見、ご希望のある方は下記メールアドレスに 6 月末までお願いします。

z-gakushujuku@bz04.plala.or.jp